

### 国土交通省・地元選出国會議員へ 衣浦港の整備促進・拡充を要望



\*写真撮影時のみ、マスクを外しています

衣浦港振興会(鈴木並生会長／碧南商工会議所会頭)は、衣浦港整備促進期成同盟会(会長=久世孝宏半田市長)と合同で、8月17日(火)、国土交通省へ衣浦港の整備促進・拡充に関する要望を行った。

この要望には、衣浦港の5市3町で構成する衣浦港整備促進期成同盟会より関係市町の首長、地元商工会議所・商工会を中心とした当振興会からは鈴木会長、榊原康弘副会長(半田商工会議所会頭)が出席、大西英男国土交通副大臣、山田邦博国土交通事務次官、浅輪宇充港湾局長とオンライン形式で面会した。

要望内容は、港湾施設の計画的な維持管理、競争力強化のための港湾整備の他、衣浦港振興会(経済界)としては、経済活動を維持・発展させるために必要な計画的な防災・減災対策の推進などを強く要望した。また、伊藤忠彦衆議院議員、酒井庸行参議院議員を交えての衣浦港に関する意見交換では、衣浦港におけるバルク貨物の保管用地不足、湾奥部の水深不足などの様々な課題があり、これらの課題を解決し、バルク貨物の集約化・拠点化するとともに、カーボンニュートラルポートの形成にもつながるよう、外港地区に新たな国際物流ターミナルを整備し、港全体のふ頭再編を進める必要があり、-12mの岸壁と岸壁に通じる臨港道路の早期着手に期待する意見があった。



オンライン形式での要望の様子

# 「国土交通省中部地方整備局・愛知県へ要望」

## 必要な水深の確保、風水害(津波・高潮)等への対応などを強く要望

衣浦港振興会(鈴木並生会長／碧南商工会議所会頭)は、衣浦港を取り巻く関係行政団体である衣浦港整備促進期成同盟会(久世孝宏会長／半田市長)と合同で、7月16日(金)に、国土交通省中部地方整備局並びに愛知県を訪れ、「衣浦港の整備促進・拡充」に関する要望を行った。

中部地方整備局においては、副局長 天野雄介氏を始めとする港湾関係部署が参加、愛知県においては、都市・交通局長 森 哲也氏を始め幹部職員が参加し、両団体より、日本のものづくりを支える中部地域の発展に果たす衣浦港の役割や現状と課題を説明し、要望書を直接手渡した。衣浦港振興会からは、経済活動を維持・発展させるために必要な水深の確保、風水害(津波・高潮)等への対応などを強く要望した。



### 要望内容

#### 1. 競争力強化のための港湾整備の推進

外港地区における新たなふ頭整備と  
集貨・集約、道路整備による物流機能の強化



#### 2. 計画的な防災・減災対策、維持管理の推進

切迫する巨大地震や激甚化する風水害への対応と必要な機能を確保するための維持管理・改良

#### 3. 賑わいのあるみなとづくりの推進

みなとの魅力を活かした親しまれる港湾空間の創出と次世代に繋げるための環境保全の推進

中部地方整備局からは、バイオマスの立地も増え、生産設備の増加に加えて、取り扱う鉄スクラップの東南アジアへの輸出による船の大型化への対応など、国としても港湾機能の強化は必要であると考えます。地元と協力して国も一緒に10年先の衣浦港を考えていきたい。愛知県からは、国・県・市町・民間と連携して社会を取り巻く変化に対応し、しっかりと時流に合わせていきたい。長い目で見て求められていることに応えられるよう、県としても対応していきたいとの回答を頂いた。

#### 中部地方整備局への要望



#### 愛知県への要望



\*写真撮影時のみ、マスクを外しています



衣浦港機能強化、今後の港湾発展を学ぶ

## 『衣浦港機能強化に向けた地域勉強会』を開催

衣浦港振興会（鈴木並生会長／碧南商工会議所会頭）は、半田市、碧南市の協力を得て、7月29日（木）衣浦港機能強化に向けた地域勉強会を開催した。

この勉強会は、地域経済を支えている衣浦港のさらなる発展を目指すために、荷主や港運など、衣浦港関係者30名が参加し、港の現状や、将来を見据えた港のあるべき姿を共有しつつ、機能強化に向けて話し合う機会として開催。

当日は、碧南市建設部土木港湾課より、「衣浦港の概要」について説明が行われ、続いて、日本鉄リサイクル工業会会長 伊藤弘之氏（大成金属㈱ 代表取締役）より、「日本の鉄スクラップ」をテーマに、大型船による輸出に向けての港湾整備の必要性について説明が行われた。

今後のバルク貨物増大を見込めば、背後に広いヤードをもった岸壁整備が急務であること。ハード整備だけでなく、作業時間短縮に向けた荷役機械の新設など物流効率化への工夫が重要であること。海外の積出・積込港湾と比べ、衣浦港



が岸壁・水深不足であるために海上輸送網のボトルネックとなりつつあること。災害など有事の際でも背後圏企業を支えられる耐震強化岸壁には極めて期待している、などの意見が出された。

現状の課題解決のみならず、新たな物流の動きに対応するために「提言書」をとりまとめ、衣浦港関係者が一致団結して機能強化実現に向けて取り組むことを確認した。



\*写真撮影時のみ、マスクを外しています

## 第2回 社会経済構造等の変化を見据えた 名古屋港・衣浦港・三河港の今後の発展に向けた勉強会

9月10日（金）、第2回 社会経済構造等の変化を見据えた名古屋港・衣浦港・三河港の今後の発展に向けた勉強会がオンライン形式で開催された。この勉強会は、中部地方のものづくり産業の国際競争力を物流面から支えてきた名古屋港・衣浦港・三河港において、近年の情報通信技術の著しい発達に伴う情報化・デジタル化への対応や、脱炭素社会に向けた取り組みの進展、コロナ禍による物流の構造変化の兆しなど、社会経済構造の大きな変革に直面しており、従来の考え方や枠組みにとらわれない戦略的な対応を迫られている現状を踏まえて、本勉強会では3港の今後の発展に向け、講ずるべき方策を検討するために必要な知見を深めることを目的に開催。

第2回の今回は、情報化の取組やポートセールスの状況について報告が行われた。

## 令和3年上半期 衣浦港貿易概況

（	輸出総額	391億1,400万円	（前年同期比	53.9%）	）
	輸入総額	946億1,400万円	（前年同期比	139.6%）	
	差引額	▲555億円（輸入超過）			



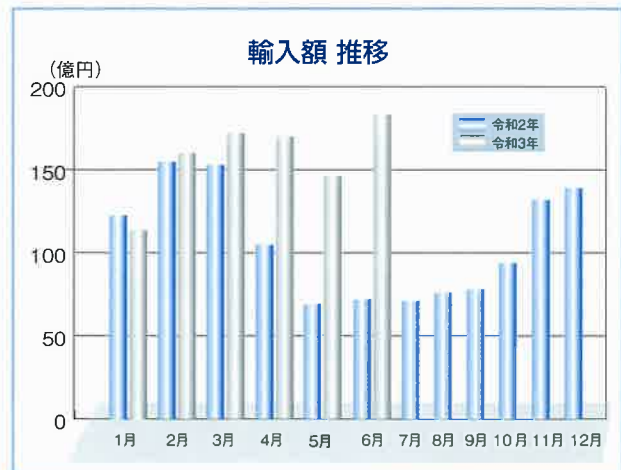
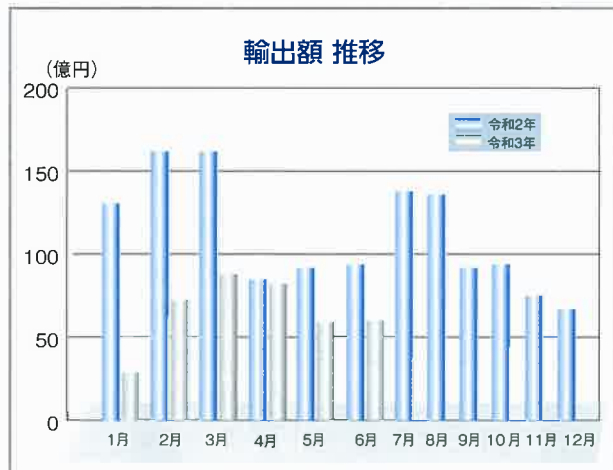
令和3年上半期（為替レート:1ドル107.19円 前年同期比1.1% 1.18円の円高ドル安）の衣浦港の輸出額は、輸送用機器および鉄鋼が大幅に落込み（昨年同期の約半額）、前年同期と比べ53.9%にとどまった。

輸出額の主要概況品別では「原料別製品」（155億円・構成比39.6%）、「機械類及び輸送用機器」（145億円・同37.0%）、「原材料」（68億円・同17.3%）の順となった。

また、輸入額の主要概況品別では、「鉱物性燃料」（540億円・構成比57.1%）、「食料品及び動物」（184億円・同19.4%）、「原料別製品」（68億円・同7.2%）の順となった。

（金額単位：百万円、▲は輸入超過）

年	輸出額		輸入額		輸出入額		差引額	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
平成29年上期	64,797	93.7%	96,352	126.3%	161,149	110.8%	▲31,555	438.9%
平成30年上期	72,805	112.4%	103,101	107.0%	175,906	109.2%	▲30,296	96.0%
令和元年上期	84,335	115.8%	102,852	99.8%	187,187	106.4%	▲18,517	61.1%
令和2年上期	72,617	86.1%	67,607	65.7%	140,224	74.9%	5,010	—
令和3年上期	39,114	53.9%	94,614	139.6%	133,728	95.3%	▲55,500	—



出所：名古屋税関

## 2021年衣浦みなとまつり花火大会の開催中止について

11月20日（土）に予定しておりました衣浦みなとまつり花火大会（於：衣浦港中央ふ頭沖合海上）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止することとなりました。

主催 衣浦みなとまつり実行委員会・碧南市  
問合せ 碧南市土木港湾課（0566）95-9903



令和3・4年度は  
事務局が  
碧南商工会議所  
となります

所在地／447-8501 碧南市源氏神明町90（碧南商工会議所内）  
TEL (0566)41-1100 FAX (0566)48-1100  
URL <http://www.hekinancci.or.jp/>  
E-mail [info@hekinancci.or.jp](mailto:info@hekinancci.or.jp)

